

調査結果のポイント

(事業所規模5人以上)

- 現金給与総額は 5年連続のプラス
- 総実労働時間は 2年ぶりのマイナス
- 所定外労働時間は 2年ぶりのマイナス
- 常用労働者数は13年連続のプラス
- パートタイム労働者比率は 38.0%

1 賃金

現金給与総額は、285,940円(前年比1.5%増)と5年連続のプラスとなった。
物価の影響を加味した実質賃金は、前年比0.4%増となった。

	埼玉県		
	実数(金額)	指数の前年比	
現金給与総額	285,940円	1.5%	5年連続プラス
きまって支給する給与(定期給与)	242,882円	1.1%	4年連続プラス
所定内給与	225,312円	1.2%	4年連続プラス
実質賃金(現金給与総額)	-	0.4%	3年連続プラス

※平成30年の消費者物価指数(さいたま市持家の帰属家賃を除く総合)は、101.1で前年比+1.1%

2 労働時間

総実労働時間は、136.7時間(前年比0.2%減)と2年ぶりのマイナスとなった。
所定外労働時間は、10.4時間(前年比1.8%減)と2年ぶりのマイナスとなった。

	埼玉県		
	実数(時間)	指数の前年比	
総実労働時間	136.7時間	△0.2%	2年ぶりマイナス
所定内労働時間	126.3時間	△0.1%	3年連続マイナス
所定外労働時間	10.4時間	△1.8%	2年ぶりマイナス

3 雇用

常用労働者数は、2,111,782人(前年比1.3%増)となり、13年連続のプラスとなった。
パートタイム労働者の比率は、38.0%(前年差1.1ポイント減)であった。

	埼玉県		
	実数(人数、%)	指数の前年比(差)	
常用労働者数	2,111,782人	1.3%	13年連続プラス ^{注)}
一般労働者	1,308,941人	-	-
パートタイム労働者	802,841人	-	-
パートタイム労働者比率	38.0%	△1.1ポイント(差)	3年連続マイナス

注) 時系列の前年比較は平成18年から

※ 調査結果の数値は、特に記載のある場合を除き、事業所規模5人以上、調査産業計の数値である。

※ 指数は基準時(平成27年平均)を100とした数値である。時系列の前年比は、平成29年1月分公表時に行った基準更新後の指数(平成17年~最新公表値)で算出している。前年比は指数等により算出した前年からの増減率のため、実数から算出した増減率とは一致しない場合がある。